

こども教育宝仙大学 研究室だより 第5回

「学校って何だろう」

親が子どもに何かを教えること、それは動物もしています。人間も動物の一員として人類としてこの地球上に誕生してから、ずっと親は子どもを教えてきました。これを、教育の歴史だとすると、学校の歴史はどうでしょう。学校の歴史は教育の歴史よりずっと短く、日本では、ほとんどの子どもたちが学校に行くようになってから 100 年あまりしか経っていません。教育の歴史はずっと長いのです。

一方で、いまみなさんが幼稚園の先生になろうと思うと、学校（大学）に通って、決められた科目を勉強して、資格（幼稚園教諭免許状）を取得しないと幼稚園の先生になる事ができません。

あれ？ 子どもを教えるのは動物から始まって、学校のない時代も誰でもしてきた事ではなかったのでしょうか。なぜ、学校という制度ができて、先生の資格が決まっていたのでしょうか。今から 100 年以上昔の日本の人たちはどうやって学んでいたのでしょうか。

日本では、小学校に入る前の子どもたちが育つ場所が幼稚園と保育所等に分かれています。それはなぜでしょう。他の国ではどうなっているのでしょうか。

教育の歴史を学び、他の国の教育を学ぶ事で、いまの日本の教育をきっとより良くしていく事ができます。

（佐野通夫 研究分野：教育、教育制度）

